

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 石川 哲夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 龍ヶ崎市立川原代小学校

担当教諭名 佐藤 嘉恵

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。
記

実施日時	平成21年10月28日(水) 10:00 ~ 14:00
対象学年と人数	1~5学年(105人)
派遣講師名と出身国	パンディ・ヘンプロバ(ネパール) チンドリ(インドネシア) アーエイシュ・ムーサ(ヨルダン)
活動の内容	1ネパール、インドネシア、ヨルダンの紹介(全体会) 2ネパール、インドネシア、ヨルダンの遊びやダンス体験(各コーナー) 3交流給食 4昼休み交流
コーディネーター	布浦万代
生徒・保護者等参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・国によって文字が違うこと、右から書く、左から書く国があることが分かりました。 ・日本で100円で買えるものが他の国ではもっとたくさん買えることが分かりました。国によって値段が違うんだなと思いました。 ・ヨルダンの死海に行ってみたくて本を読みたいです。 ・インドネシアのアンクルンをみんなで演奏したり、ジャンケン、おはじきのようなもので遊んだりしたことがとても楽しかった。
先生の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達は毎年ワールドキャラバンの方のお話を聞くのを楽しみにしています。今回も、各国のお国自慢や、生活、食事、物価の違いなどの盛りだくさんの説明を講師の先生方が実物やパワーポイントを用いて分かりやすく説明してくださり、感心しました。 ・有名な死海やペトラ遺跡がヨルダンにあることを確認できてうれしくなりました。死海の水くらいの濃度の塩水に卵を浮かせる実験に、子ども達がとてもひきつけられていて、「本当に浮くんだ」と歓声を上げていました。アラブのスカーフの巻き方も子ども達は興味津々でした。 ・インドネシアの方がとても明るく、気さくで子ども達にどんどん話しかけていたので、給食を一緒に食べた子ども達がたくさん話せました。教え方も上手で5年生はアンクルンをあっという間に演奏できました。 ・ネパールの方のダンスに低学年は大喜びで、ずっと一緒に踊っていました。高学年はちょっと恥ずかしそうでしたが…。民族衣装を着ることができた児童はかけがえのない思い出になったことでしょう。

